

# 第56期 中間事業報告書

平成15年4月1日から平成15年9月30日まで

## 株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金	3月31日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主(実質株主を含む)または登録質権者にお支払いいたします。
中間配当金	中間配当をおこなう場合は、9月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主(実質株主を含む)または登録質権者にお支払いいたします。
基準日	定時株主総会については3月31日その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告掲載新聞	日本経済新聞
1単元の株式数	100株
株式名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 (お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 東京03(3323)7111
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社本店および全国各支店

当社は、貸借対照表(および損益計算書)を決算公告に代えて、ホームページに掲載いたしております。

ホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.natori.co.jp/kessan/index.html>

 **株式会社なとり**

〒114-8611 東京都北区王子5丁目5番1号 TEL03(5390)8111



この事業報告書は、エコマーク認定の古紙配合率100%の再生紙を使用し、アロマフリータイプ大豆油インキで印刷されています。

# Creation & Innovation

 **株式会社なとり**

証券コード：2922

## トップメッセージ



代表取締役会長兼社長

株主のみなさまにはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当社事業に格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

茲もと、当社第56期中間期の事業報告をご報告申し上げます。

当社グループは、経営の品質向上を図りながら株主価値を増大させるため、デフレ経済に向けた構造改革、イノベーションにより生産性を高めることならびに株主、投資家等ステーク・ホルダーのみなさまへ透明性の高い企業でありつづけるため、コンプライアンスを重視した事業活動をおこなうことを基本方針としております。「良い商品をつくって、良いサービスと合わせてお客さまに提供することで喜んでいただける」体質づくりを積極的に推進しております。

当中間期においては、前期平成14年9月に発生させました無認可添加物混入による自主回収のさまざまな後遺症、ならびに酒類販売自由化へ向けて多くの企業が「おつまみ」市場へ参入され競争が激化して来たこと等もあり、期初の業績見通しと乖離する結果となりましたが、収益改善に全力を挙げて取り組んでおり通期の連結業績見通しは売上高306億円、経常利益12億円、当期純利益6億20百万円を見込んでおります。なお、当期の配当金につきましては、1株につき中間配当金5円、期末配当金5円とさせていただく予定であります。今後とも、経営基盤の強化と業績の向上に努力を重ねる所存でございます。

株主のみなさまにおかれましても、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長

高橋 謙一

## 経営理念

株式会社なりとそのグループは、自由闊達にして公正で節度ある企業活動により、食文化の創造と発展を通して、顧客満足・株主還元・社会貢献の実現を図り、社会的に価値ある企業として、この会社に係わるすべての人が誇りを持てる会社を目指します。

## Contents

トップメッセージ・経営理念	1	財務の状況	5
財務ハイライト（連結）	2	株式の状況	8
クローズアップ・トピックス	3	会社の概要・企業集団の状況	9
製品紹介	4	生産・営業・物流拠点	10

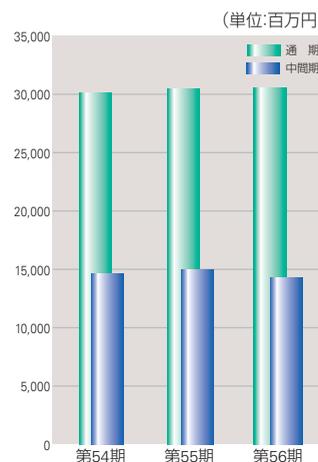
## 財務ハイライト

### 連結

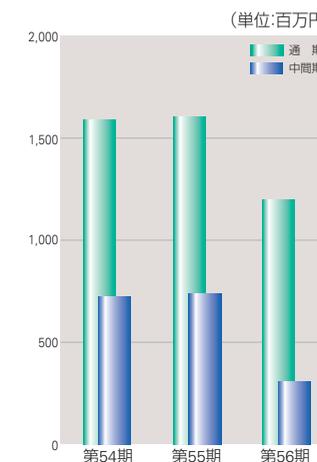
	第54期中間期 (平成13年9月期)	第55期中間期 (平成14年9月期)	第56期中間期 (平成15年9月期)	前事業年度 (平成15年3月期)
売上高(百万円)	14,700	14,981	14,356	30,530
経常利益(百万円)	725	741	311	1,606
中間(当期)純利益(百万円)	382	288	150	763
1株当たり中間(当期)純利益(円)	30.75	21.34	11.09	55.62
総資産(百万円)	23,722	24,171	24,061	25,118
株主資本(百万円)	9,845	10,589	11,090	10,977
株主資本比率(%)	41.5	43.8	46.1	43.7
1株当たり株主資本(円)	727.31	782.26	819.34	810.12

- 平成13年9月17日株式を東証二部に上場し、公募増資をおこなっております。
- 第54期の1株当たり中間純利益と1株当たり株主資本は、平成14年2月21日付で1:1.2の株式分割を実施しましたので、遡及修正をおこなっております。

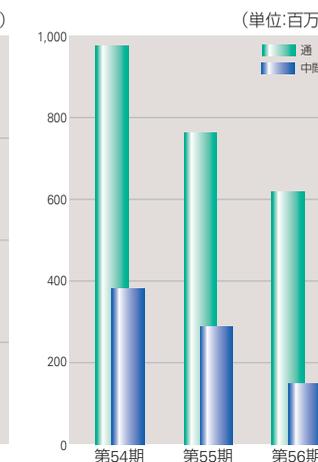
### ● 売上高



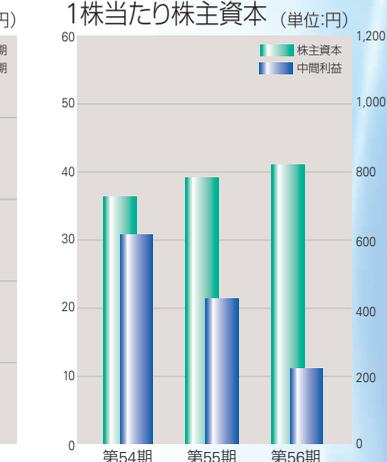
### ● 経常利益



### ● 中間(当期)純利益



### ● 1株当たり中間純利益



(注)第56期通期は見直し

## クローズアップ

### ■研究開発体制の強化■

R&Dセンター(食品総合ラボラトリー)  
による開発型企業を志向

平成15年3月に第一期工事を終えた食品総合ラボラトリーは本格的に業務を開始いたしました。食品の安心・安全を確認するための最新鋭分析機を備え、差別化された商品の開発と市場投入をおこなうと同時に健康に配慮した「おつまみ」の開発やHACCPとISOの統合的運用による品質管理面の強化を図る戦略であります。



食品総合ラボラトリー

### ■産学連携事業の推進■

早稲田大学社会システム工学研究所との連携により産学協同事業を推進することについて合意に達し、「高齢化社会のあんしん食」を生産・販売する株式会社T.M.L(スリー・マインド・ラボラトリー)が本年5月に設立され資本参加(20%)いたしました。同社を育成、成長させる戦略であり、また、同社の低温スチーム技術を活用し差別化された商品開発をおこない、お客さまにご提供してゆく方針であります。



ロゴマーク

## トピックス

### ■ISO9001・ISO14001■

#### ISO9001

本年11月、子会社メイホク食品(株)がISO9001(2000年版規格)認証を取得いたしました。グループ内主要3工場では同システムの定着化に努め、食品の安全性の確保と品質管理に努めてまいります。引き続き子会社(株)全珍、ならびに本社の同認証取得を目標としております。

#### ISO14001

本年8月、本社がISO14001の認証を再承認いただきました。また、本年11月、埼玉工場が同規格の認証を取得いたしました。食品メーカーとして事業活動を通じ「人と環境に優しい企業」を目指しており、並行して産業廃棄物の削減やCO<sub>2</sub>排出量の削減等環境保全活動を推進、環境報告書作成の基礎づくりも進めております。

### ■商品情報■

#### 天然宣言

「天然宣言シリーズ」は、衛生管理・品質管理を徹底し、保存料・着色料はもちろんのこと、調味料に至るまで化学的合成添加物は一切使用せず天然本来の調味料だけで味付けし、素材そのものの持ち味を引き出した「安全・安心・天然志向」のおつまみです。

#### Liquor Plus(リカープラス)

酒類小売業免許自由化へ対応し酒売場向け新製品として「Liquor Plus」(リカープラス)を開発いたしました。酒類をはじめ他の商品の陳列を妨げることなく、ニッチスペースを有効に使えるパッケージを採用いたしました。専用仕器と組み合わせて、より効率的な売場を作ることができます。

#### 水産庁長官賞を受賞

天然宣言一夜干風焼あたりめは、全国水産加工品総合品質審査会において一昨年の帆立貝柱燻製、昨年のソフトいか燻製に続いて本年、水産庁長官賞を受賞いたしました。



## 製品紹介



#### 株主優待のご案内

毎期末3月31日現在、当社株式を100株以上保有の全ての株主のみなさまに対して、上記5製品群にわたる商品から、よりすぐりの商品を贈呈いたします。

- 100株以上1,000株未満 2,000円相当
- 1,000株以上 3,000円相当

# 財務の状況

## 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	前中間連結 会計期間末 (平成14年9月30日現在)	当中間連結 会計期間末 (平成15年9月30日現在)	前連結会計 年度末 (平成15年3月31日現在)
<b>流動資産</b>	<b>10,544</b>	<b>10,127</b>	<b>11,038</b>
現金・預金	1,228	1,179	1,328
受取手形・売掛金	4,306	4,150	4,511
たな卸資産	4,669	4,449	4,853
繰延税金資産	194	199	151
その他	151	153	200
貸倒引当金	△6	△5	△6
<b>固定資産</b>	<b>13,627</b>	<b>13,933</b>	<b>14,080</b>
有形固定資産	12,317	12,343	12,534
無形固定資産	110	109	109
投資その他の資産	1,199	1,480	1,436
<b>資産合計</b>	<b>24,171</b>	<b>24,061</b>	<b>25,118</b>

## 負債の部

負債の部	前中間連結 会計期間末 (平成14年9月30日現在)	当中間連結 会計期間末 (平成15年9月30日現在)	前連結会計 年度末 (平成15年3月31日現在)
<b>流動負債</b>	<b>9,363</b>	<b>10,039</b>	<b>11,094</b>
支払手形・買掛金	2,621	2,664	2,649
短期借入金	4,401	4,400	4,968
1年以内に返済予定の長期借入金	568	1,330	1,475
未払法人税等	389	241	347
賞与引当金	450	377	336
その他	931	1,025	1,318
<b>固定負債</b>	<b>4,048</b>	<b>2,771</b>	<b>2,875</b>
社債	100	100	100
長期借入金	2,758	1,430	1,564
繰延税金負債	273	280	273
役員退職慰労引当金	871	907	888
その他	44	54	48
<b>負債合計</b>	<b>13,411</b>	<b>12,810</b>	<b>13,969</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>170</b>	<b>159</b>	<b>172</b>

## 資本の部

<b>資本合計</b>	<b>10,589</b>	<b>11,090</b>	<b>10,977</b>
資本金	1,225	1,225	1,225
資本剰余金	1,540	1,540	1,540
利益剰余金	7,828	8,316	8,244
その他有価証券評価差額金他	△5	8	△33
<b>負債・少数株主持分・資本合計</b>	<b>24,171</b>	<b>24,061</b>	<b>25,118</b>

### POINT 1

#### 資本合計

利益剰余金の増加により資本合計は110億90百万円となり、株主資本比率は前中間期末比2.3%アップの46.1%となりました。

### POINT 2

#### 売上高

減収の要因は、消費低迷、競争激化やデフレ進行による低価格化、天候不順等の外部要因のほか、前期発生させた無認可添加物混入の後遺症による大型新商品投入のすれやリージョナル・チェーン店さまへの取組みの遅れ、農産加工品の減収が大きく影響いたしました。

### POINT 3

#### 販売費及び一般管理費

経費削減に努力いたしましたが、本年3月に竣工しました食品総合ラボラトリーに係る先行投資的費用の増加や販売促進費の増加もあって前期比4.7%増となりました。

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結 会計期間 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	当中間連結 会計期間 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前連結会計 年度 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>14,981</b>	<b>14,356</b>	<b>30,530</b>
売上原価	9,954	9,561	20,282
売上総利益	5,027	4,794	10,248
<b>販売費及び一般管理費</b>	<b>4,277</b>	<b>4,478</b>	<b>8,640</b>
営業利益	749	315	1,608
営業外収益	52	46	115
営業外費用	61	49	117
経常利益	741	311	1,606
特別利益	14	—	131
特別損失	170	1	271
税金等調整前中間(当期)純利益	584	310	1,467
法人税、住民税及び事業税	384	236	746
法人税等調整額	△92	△73	△50
少数株主利益	4	△2	7
中間(当期)純利益	288	150	763

## 中間連結剰余金計算書

(単位:百万円)

	前中間連結 会計期間 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	当中間連結 会計期間 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前連結会計 年度 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	1,540	1,540	1,540
資本剰余金増加高	—	—	—
資本剰余金減少高	—	—	—
資本剰余金中間期末(期末)残高	1,540	1,540	1,540
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	7,631	8,244	7,631
利益剰余金増加高	288	150	772
利益剰余金減少高	91	78	158
利益剰余金中間期末(期末)残高	7,828	8,316	8,244

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結 会計期間 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	当中間連結 会計期間 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前連結会計 年度 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△227	1,273	169
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,921	△500	△2,236
財務活動によるキャッシュ・フロー	541	△916	1,411
現金及び現金同等物の減少額	△1,608	△143	△655
現金及び現金同等物期首残高	1,514	870	1,514
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	—	—	11
現金及び現金同等物中間期末(期末)残高	△93	726	870

### POINT 4

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

前中間期に比較して15億1百万円増加いたしました。税金等調整前中間純利益は2億74百万円減少いたしました。が、循環系(売上債権・たな卸資産・仕入債務)で前中間期比11億5百万円(うち期末日が休日であったことによる影響額は3億50百万円含まれる)増加し、また法人税等の支払額が1億62百万円減少いたしました。

### POINT 5

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資内容は、平成15年3月に竣工いたしました食品総合ラボラトリー建設資金残金3億30百万円、社員寮建設資金残金54百万円ならびに埼玉工場の焼却炉設置工事60百万円等であります。

### POINT 6

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期・短期借入金の借入・返済のバランスで8億47百万円支出、期末配当金67百万円支出等であります。

# 財務の状況

## 単体中間貸借対照表

(単位:百万円)

	前中間 会計期間末 (平成14年9月30日現在)	当中間 会計期間末 (平成15年9月30日現在)	前事業 年度末 (平成15年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>	9,813	9,419	10,113
現金・預金	942	725	851
受取手形・売掛金	4,034	3,899	4,258
たな卸資産	4,558	4,308	4,733
繰延税金資産	138	141	112
その他	143	347	161
貸倒引当金	△4	△3	△4
<b>固定資産</b>	10,398	10,944	10,967
有形固定資産	8,802	9,086	9,159
無形固定資産	103	104	103
投資その他の資産	1,492	1,753	1,703
<b>資産合計</b>	20,212	20,364	21,080

## 負債の部

<b>流動負債</b>	7,843	8,602	9,431
支払手形・買掛金	2,571	2,607	2,576
短期借入金	3,311	3,470	3,878
1年以内に返済予定の長期借入金	327	1,150	1,249
未払法人税等	346	215	316
賞与引当金	318	267	244
その他	968	892	1,166
<b>固定負債</b>	2,537	1,436	1,470
社債	100	100	100
長期借入金	1,296	146	208
繰延税金負債	273	278	271
役員退職慰労引当金	857	901	880
その他	9	10	9
<b>負債合計</b>	10,380	10,039	10,901

## 資本の部

<b>資本合計</b>	9,832	10,325	10,178
資本金	1,225	1,225	1,225
資本剰余金	1,540	1,540	1,540
利益剰余金	7,071	7,551	7,446
その他有価証券評価差額金他	△5	7	△34
<b>負債・資本合計</b>	20,212	20,364	21,080

## 単体中間損益計算書

(単位:百万円)

	前中間 会計期間 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	当中間 会計期間 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前事業年度 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
売上高	13,910	13,418	28,304
売上原価	9,581	9,163	19,407
売上総利益	4,329	4,255	8,897
販売費及び一般管理費	3,709	3,949	7,504
営業利益	620	305	1,393
営業外収益	90	84	180
営業外費用	52	46	99
経常利益	658	343	1,473
特別利益	2	—	104
特別損失	125	1	214
税引前中間(当期)純利益	536	341	1,364
法人税、住民税及び事業税	340	210	681
法人税等調整額	△71	△51	△27
中間(当期)純利益	267	183	710
前期繰越利益	132	142	132
中間配当額	—	—	67
中間(当期)未処分利益	400	326	775

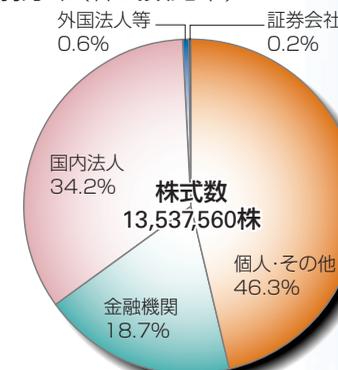
# 株式の状況

(平成15年9月30日現在)

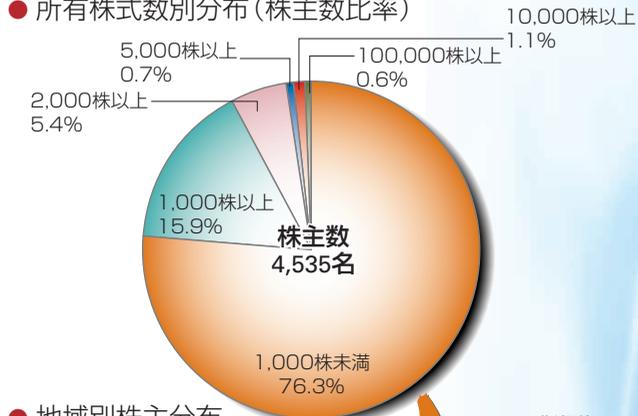
- 会社が発行する株式の総数 40,000,000株
- 発行済株式の総数 13,537,560株
- 株主数 4,535名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社名旺エーステート	2,547,000	18.81
名取小一	1,008,180	7.45
有限会社メイオウ	837,336	6.19
名取三郎	676,308	5.00
横山よし子	672,684	4.97
名取浪男	431,520	3.19
なとり社員持株会	333,060	2.46
有限会社フジミ屋興産	313,796	2.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	279,100	2.06
株式会社東京三菱銀行	264,000	1.95

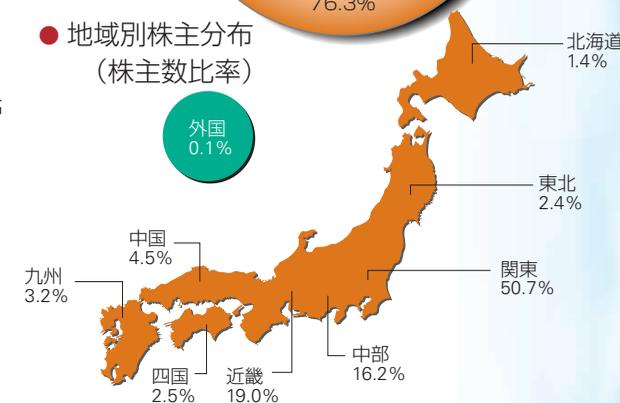
- 所有者別分布(株式数比率)



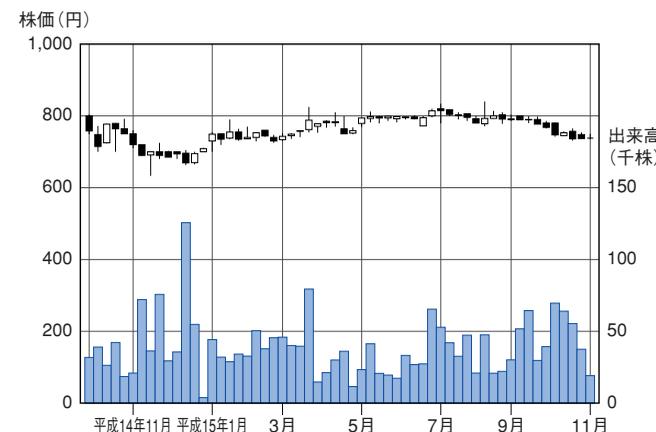
- 所有株式数別分布(株主数比率)



- 地域別株主分布(株主数比率)



- 株価チャート(平成14年9月30日～平成15年11月7日)

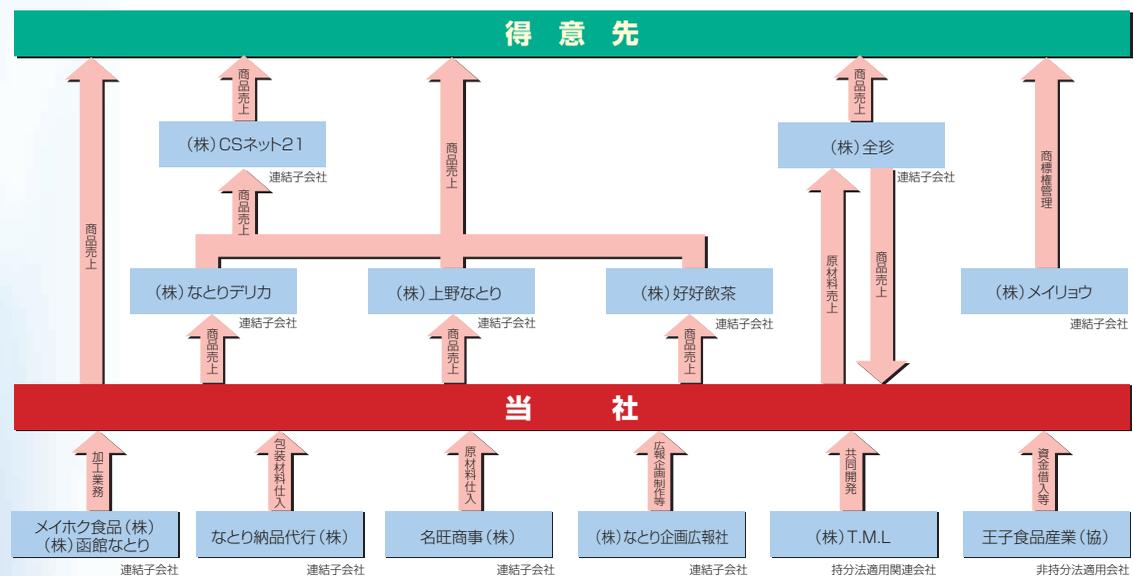


## 会社の概要

会社名 株式会社 なとり  
 本社 東京都北区王子5丁目5番1号  
 設立 昭和23年6月  
 資本金 1,225,125,250円  
 従業員数 629名(男子403名、女子226名)  
 主要取引銀行 東京三菱銀行、りそな銀行、商工組合中央金庫、農林中央金庫、三井住友銀行、みずほ銀行

## 企業集団の状況

当社の企業集団は、王子食品産業(協)を除く子会社11社、関連会社1社を連結対象会社として構成され、水産加工品、畜肉加工品、酪農加工品、農産加工品、惣菜品ほか、おつまみ食料品全般にわたる製造販売を主な内容として事業活動を展開しております。  
 事業の系統図は次のとおりであります。なお、(株)T.M.Lは早稲田大学社会システム工学研究所との産学協同事業として平成15年5月8日に設立いたしました。



(平成15年9月30日現在)

### 役員

代表取締役会長兼社長	名取 小一
取締役副会長	名取 浪男
取締役副社長	名取 三郎
常務取締役	山本 哲也
常務取締役	富田 勉
取締役	名取 雄一郎
取締役	小嶋 利光
取締役	井上 裕喜
取締役(社外)	岡崎 正憲
常勤監査役	打林 越夫
監査役(社外)	打林 光
監査役(社外)	林 徹一
監査役(社外)	林 雄一
執行役員	小林 眞臣
執行役員	出島 信
執行役員	相澤 雅英
執行役員	宮岸 正紀
執行役員	井筒 雅幸
執行役員	稲川 英
執行役員	永井 幸佳

## 生産・営業・物流拠点

(平成15年11月10日現在)

メイホク食品



全珍



埼玉ミート工場・埼玉チーズ工場



- 営業拠点**
- 営業所全国39カ所
- 連結子会社**
- 国内11社

- 生産拠点**
- (株)なとり埼玉ミート工場・埼玉チーズ工場 埼玉県久喜市清久町1番6号
- (株)なとり埼玉ナッツ工場 埼玉県久喜市清久町1番7号
- (株)なとり川口工場 埼玉県川口市青木1丁目20番地16号
- メイホク食品(株) 北海道亀田郡大野町字清水川1220番地1
- (株)函館なとり 北海道亀田郡大野町字清水川142番地12
- (株)全珍 広島県呉市広末広1丁目3番28号
- 物流拠点**
- 首都圏配送センター 埼玉県加須市大桑2丁目23番1
- 北日本配送センター 北海道札幌市東区19条東2丁目1番4号
- 東北配送センター 宮城県仙台市若林区卸町東2丁目2番7号
- 中部日本配送センター 愛知県名古屋市中川区柳森町803
- 関西配送センター 大阪府東大阪市本庄中1番地16
- 九州配送センター 福岡県大野城市御笠川4丁目7番16号